

下仁田町公共施設総合管理白書 概要版 平成 29 年 3 月

1 はじめに

【白書作成の背景と目的】

【国】 ○ 公共施設等の老朽化対策、人口減少や少子高齢化の進行等による利用需要の変化を踏まえた公共施設等の状況把握、更に適正な供給量や配置の検討が必要となる。このような状況の中、「新しく造ること」から「賢く使うこと」への重点化のため「インフラ長寿命化基本計画」を策定する。

【本町】 ○ 昭和 40 年代後半から昭和 50 年代に建設された施設等の老朽化が進み、今後、改修や建替えが必要。
○ 人口減少に伴う税収の伸び悩みや高齢化社会の進行に伴う社会福祉関連経費の増大により、全ての公共施設等をこのまま維持していくことは困難であると予測する。



本町が保有する公共施設の基本情報・経費・利用状況等を把握し、公共施設の維持管理等に関する課題を取りまとめ、今後、公共施設マネジメントを推進していくうえでの基礎的な情報の集約を図ることを目的として「**下仁田町公共施設総合管理白書**」を作成する。

【対象施設】

【公共施設】

町民文化系施設、社会教育系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、産業系施設、学校教育系施設、保健・福祉施設、行政系施設、公営住宅、公園、供給処理施設、その他

11 分類 111 施設、51,941 m² (2014 年度末時点)

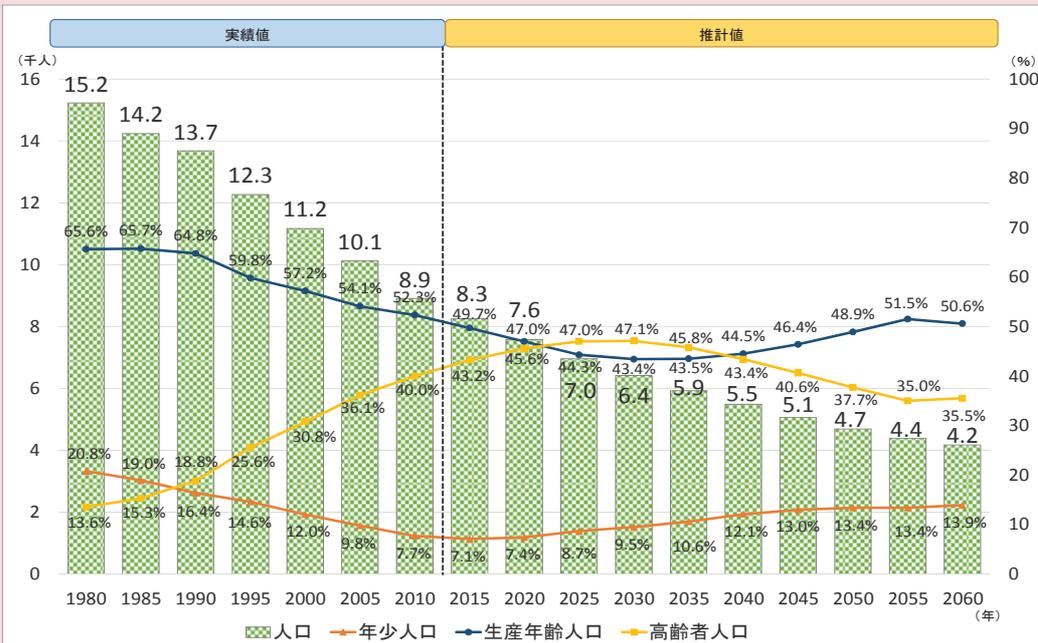


2 公共施設の現況及び将来の見通し

※グラフの数値については、端数処理の関係で合計値が一致しない場合がある。

2.1 人口の現状と見通し

【総人口と年齢 3 階層別人口の割合】



総人口は一貫して減少が続いており、2010 年では約 8,900 人となっている。人口将来展望によると、2060 年には、約 4,200 人まで減少するものと予測されている。

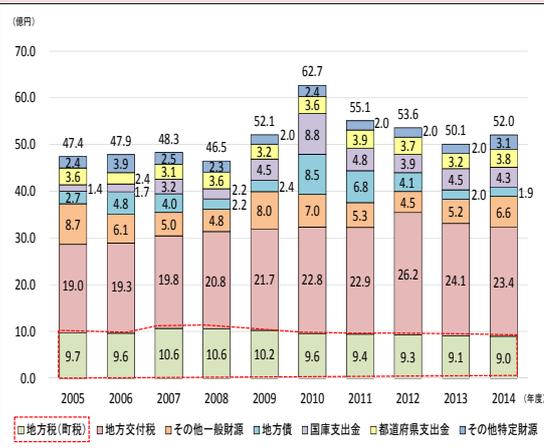
年齢 3 階層別人口の割合をみると、2010 年には、生産年齢人口比率は 52.3%、高齢者人口比率は 40.0% となっている。

2 公共施設の現況及び将来の見通し（続）

※グラフの数値については、端数処理の関係で合計値が一致しない場合がある。

2.2 財政の状況と見通し

■ 歳入



■ 歳出

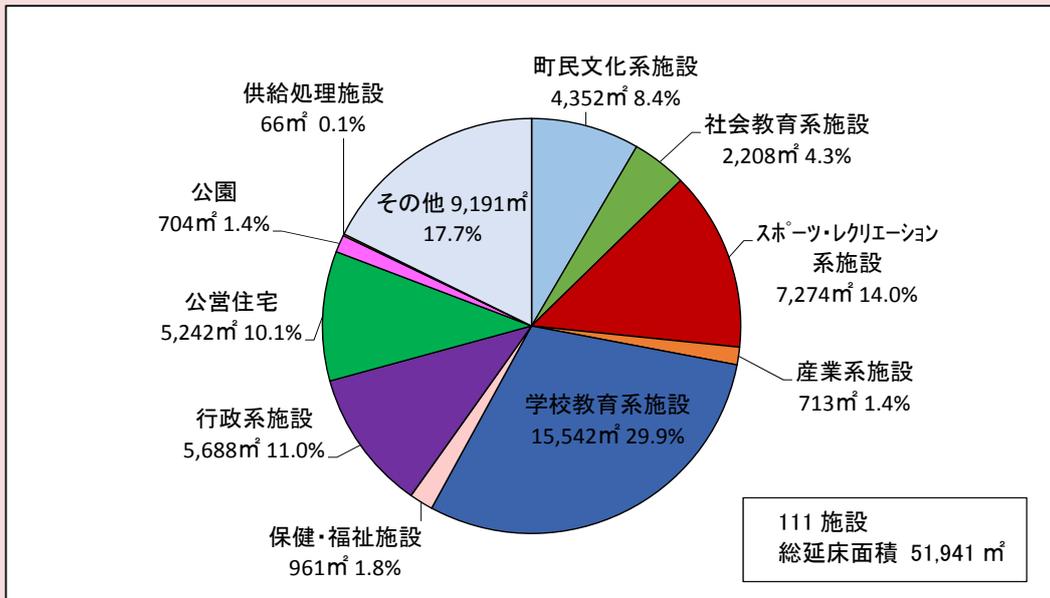


歳入は、地方税（町税）が2008年度以降減少傾向にあり、今後も生産年齢人口の減少が予測されることから、大幅な収支の伸びは期待できない。

歳出は、扶助費を含む義務的経費が20億円前後とほぼ横ばいで推移。今後、高齢化社会の進行に伴い義務的経費は増加することが予想される。

2.3 公共施設の状況と将来の更新等費用の見通し

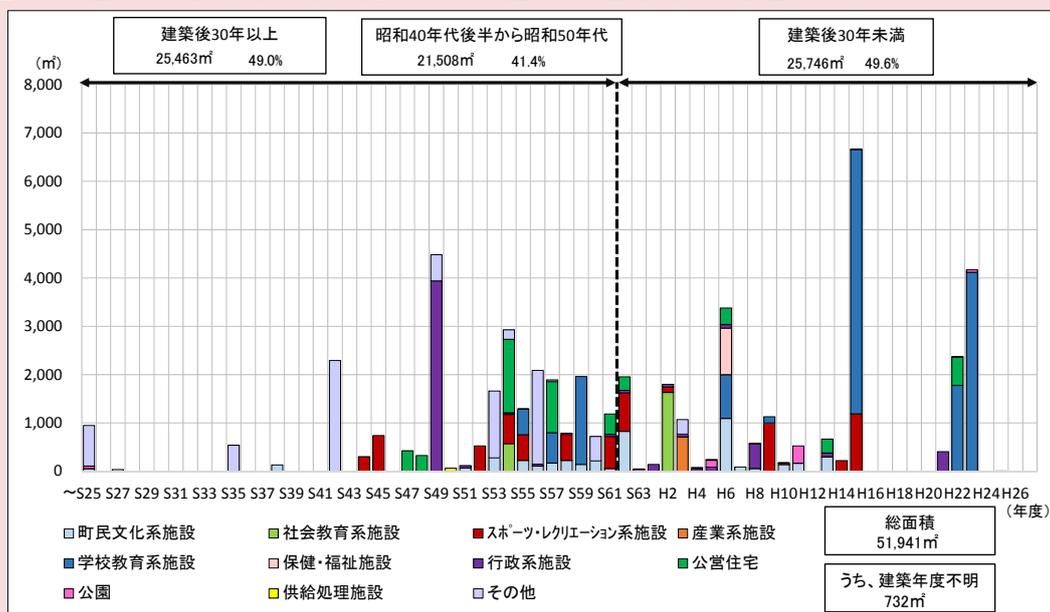
【公共施設の保有状況】



公共施設の保有量は、111施設、延床面積の合計は51,941㎡となっている。

延床面積の内訳は、学校教育系施設が29.9%を占めており最も多く、次いで、スポーツ・レクリエーション系施設の14.0%、行政系施設の11.0%、公営住宅の10.1%の順となっている。

【公共施設の老朽化の状況】 ※公共施設の建築年度別延床面積



建築年度別の延床面積の状況を見ると、昭和40年代後半以降、比較的多くの施設が整備されている。

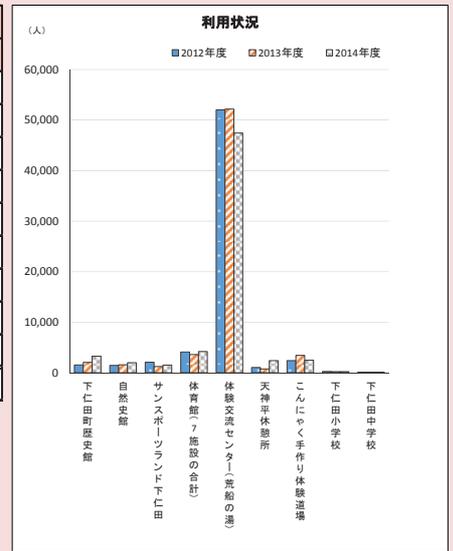
建築後30年以上経過している施設は25,463㎡であり、公共施設全体の約49.0%を占めている。

建築物は一般的に、建築後30年程度で大規模改修、60年程度で建替えが必要とされており、今後はこれらの公共施設の老朽化に対応していく必要がある。

【公共施設の利用状況】

大分類	中分類	施設名	利用者数（人）		
			2012年度	2013年度	2014年度
社会教育系施設	博物館等	下仁田町歴史館	1,598	2,066	3,323
		自然史館	1,475	1,612	2,013
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	サンスポーツランド下仁田	2,128	1,276	1,543
		体育館（7施設の合計）	4,139	3,600	4,218
	レクリエーション施設・観光施設	体験交流センター（荒船の湯）	52,017	52,169	47,428
		天神平休憩所	1,090	791	2,424
		こんにやく手作り体験道場	2,432	3,463	2,523
学校教育系施設	学校（児童・生徒数）	下仁田小学校	276	261	235
		下仁田中学校	163	153	146
合計			65,318	65,391	63,853

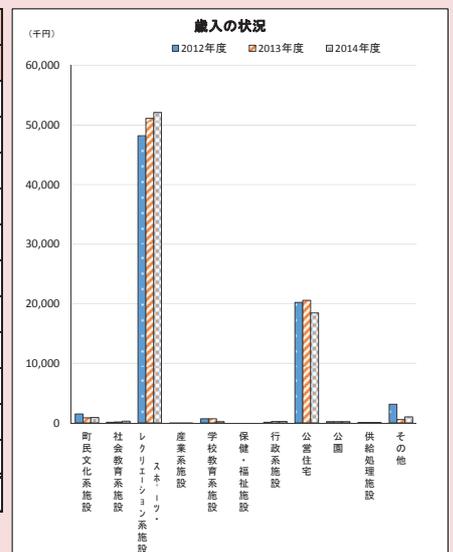
施設利用者数の2012年度から2014年度までの推移は、下仁田町歴史館、自然史館、体育館、天神平休憩所、こんにやく手作り体験道場で増加傾向にある。下仁田小学校、下仁田中学校の児童・生徒数は、年々減少傾向である。



【公共施設の歳入の状況】

施設分類	歳入（千円）		
	2012年度	2013年度	2014年度
町民文化系施設	1,513	849	922
社会教育系施設	116	162	281
スポーツ・レクリエーション系施設	48,218	51,125	52,128
産業系施設	43	43	43
学校教育系施設	699	697	211
保健・福祉施設	0	0	0
行政系施設	97	236	248
公営住宅	20,239	20,589	18,460
公園	200	200	210
供給処理施設	53	53	53
その他	3,129	559	1,019
合計	74,307	74,513	73,575

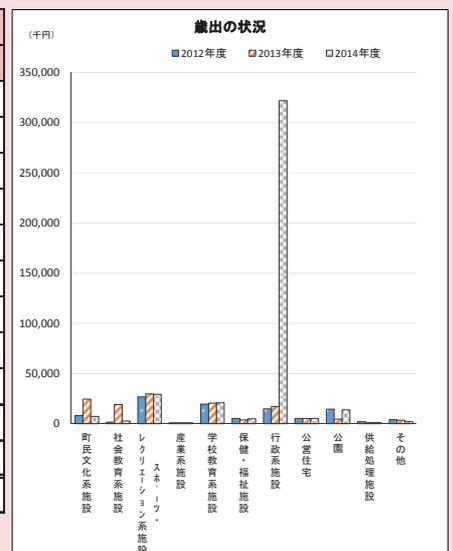
2014年度の歳入を施設分類別に見ると、スポーツ・レクリエーション系施設が約5,200万円でもっとも多く、次いで公営住宅が約1,800万円となっている。



【公共施設の歳出の状況】

施設分類	歳出（千円）		
	2012年度	2013年度	2014年度
町民文化系施設	8,079	24,474	7,393
社会教育系施設	1,635	19,152	2,730
スポーツ・レクリエーション系施設	26,832	29,856	29,325
産業系施設	1,031	1,031	1,031
学校教育系施設	19,617	20,479	20,877
保健・福祉施設	5,325	3,807	4,953
行政系施設	14,786	17,155	321,953
公営住宅	5,271	5,302	5,309
公園	14,579	4,609	13,755
供給処理施設	2,194	1,233	1,212
その他	4,146	3,447	2,093
合計	103,495	130,546	410,631

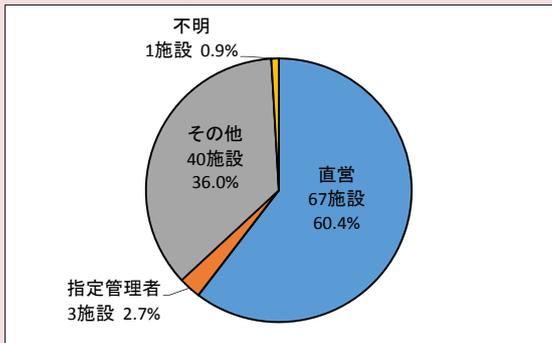
2014年度の歳出を施設分類別に見ると、役場（庁舎）にて約3.1億円の維持保全工事があったため、行政系施設が約3.2億円で最も多く、次いでスポーツ・レクリエーション系施設が約2,900万円、学校教育系施設が約2,100万円となっている。



2 公共施設の現況及び将来の見通し（続）

※グラフの数値については、端数処理の関係で合計値が一致しない場合がある。

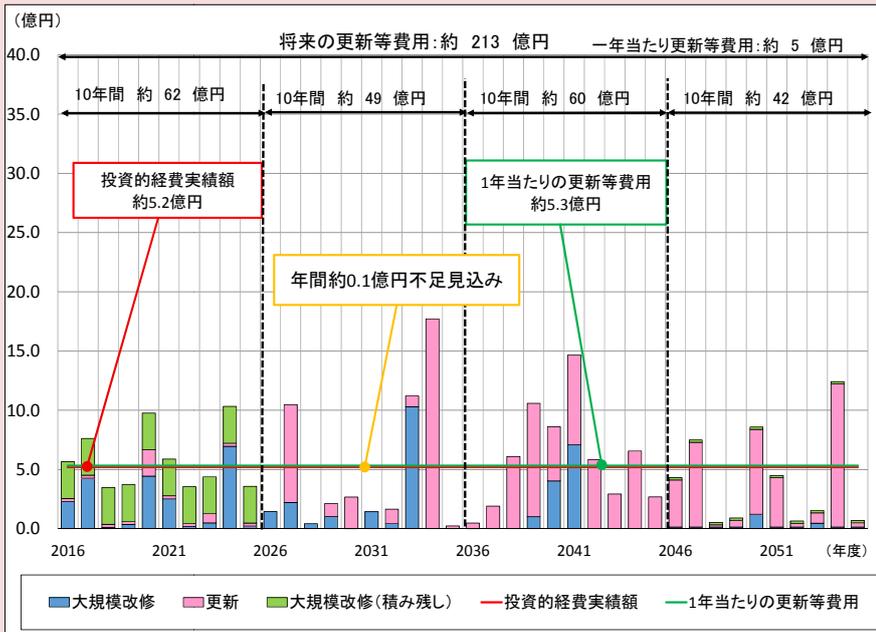
【公共施設の運営の状況】



指定管理者制度導入施設
道の駅しもにた
体験交流センター（荒船の湯）
林業総合センター

公共施設の運営形態は、111施設のうち約60%に相当する67施設が直営施設。「道の駅しもにた」「体験交流センター（荒船の湯）」「林業総合センター」の3施設が指定管理者制度導入施設となっている。

【公共施設の将来の更新等費用の見通し】



「公共施設」にかかる
将来の更新等費用
40年間 約 213 億円
(5.3 億円/年)

平成 28 年度から平成 67 年度までの 40 年間に、公共施設の更新等にかかる費用の合計は約 213 億円、年平均では約 5.3 億円と推計される。

1年当たりの更新等費用の投資的経費実績額が約 5.2 億円であることから、年間当たり約 0.1 億円が不足する推計結果となっている。

3 課題の整理

■ 人口等の今後の見通しからみた課題

総人口は減少傾向にあり、2010年では約8,900人となっている。人口の将来展望によると2060年には、約4,200人まで減少するものと予測されている。年齢3階層別人口の比率は、生産年齢人口比率が減少傾向、高齢者人口比率が増加傾向にあり、今後もしばらくは高齢化が進行していくものと予測される。人口減少及び高齢化の進行による人口構造の変化を踏まえ、住民のニーズに対応した公共施設の供給のあり方や、機能の維持・向上を検討していく必要がある。

■ 財政状況からみた課題

歳入では、地方交付税が多くを占めていたこともあり、現在までの税収は安定していたが、2008年度以降、地方税（町税）は減少傾向にあり、歳出では今後、高齢化の進行や少子化対策に伴う扶助費の増加が想定されていることから、投資的経費や維持補修費に充当される財源の確保は厳しくなることが想定される。今後の厳しい財政状況を見据えて、施設の維持管理・運営にかかる費用の全体的な抑制や、財源の確保を検討していく必要がある。

■ 施設の現状からみた課題

建築後30年以上経過している施設が全体の約5割を占めており、施設や設備の老朽化に伴う機能の低下が懸念される状況のため、安定した住民サービスの提供や、施設の安全性の確保に向けた効率的な施設の維持管理が必要である。

今後、公共施設の更新等にかかる費用は、現在の投資的経費実績額を上回るものと予測される。今後の財政状況を勘案すると、現状の公共施設をそのまま維持していくのは困難が予想されることから、施設の老朽度や利用状況を踏まえながら、効率的な施設の維持管理・運営や、将来を見据えた適正な公共施設の規模や配置を検討する必要がある。

※本概要版は、本編の要約・抜粋となります。詳細については、「下仁田町公共施設総合管理白書」をご覧ください。

公共施設総合管理白書 概要版（平成29年3月） 編集 下仁田町 総務課